

枇杷^{びわ}は冬になっても青々とした緑をつけている。

木^び

杞^わ

は

晩^{おそ}

く

翠^{みどり}

に、



支

麻●

梧桐は早く葉がしぼんで落ちてしまう。

梧

ご

桐

とう

は

早

はや

く

彫

しほ

む。



虞

東

古い根はしぼみ枯れ、

陳

ちん

根

こん

は

委

い

翳

えい

し、



●支

真

●齊

元

落葉は散って風のままに舞っている。

落

葉

は

飄

颻

す。

らく

よう

ひよう

よう



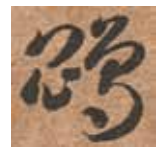
蕭

蕭

空に遊ぶ大鳥が一羽で飛びめぐり、



ゆう



こん

は



ひと

り



めぐ

り、



尤



元

赤く染まった空にのぼりせまる。

絳

こう

霄

しょう

凌

りょう

摩

ま

す。



・

蒸

蕭

歌

街に出ては書物を読み耽^{ふけ}り、

耽

たん

読

どく

して

あ

いち

に
翫

あそ

び、

耽

耽

あ

読

覃

家にあつては袋や箱に収められた書物に注目し
ひたすら学問に^{はげ}励む。

目

め

を

素

のう

箱

しょう

に

富

ぐう

す。



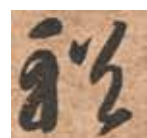
陽

陽

軽率になることは、とかく畏れ慎むべきである。



えき



ゆう

は



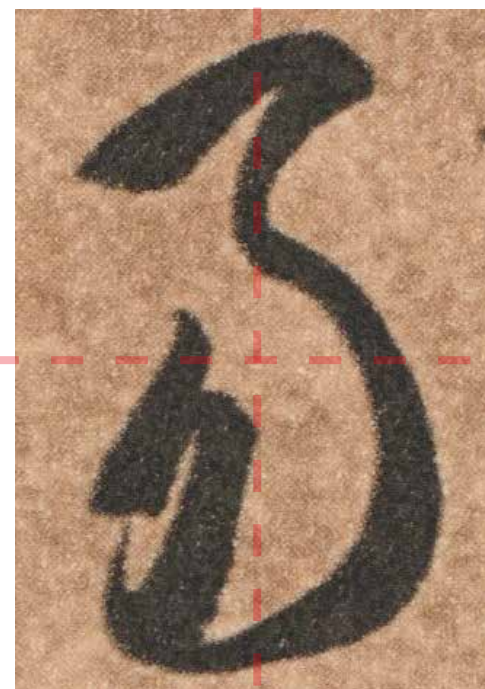
おそ

るる



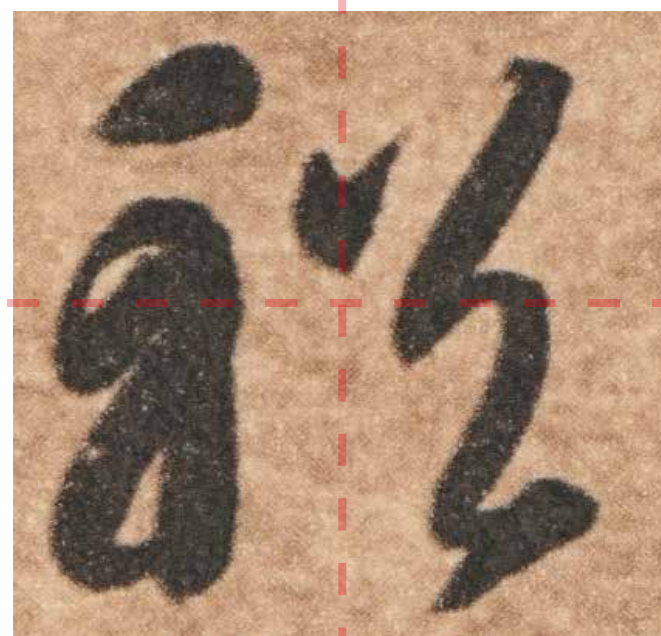
ところ

、



尤

●



●

尤●

生垣や壁には耳がある。

了

みみ

を

垣

えん

牆

しょう

に

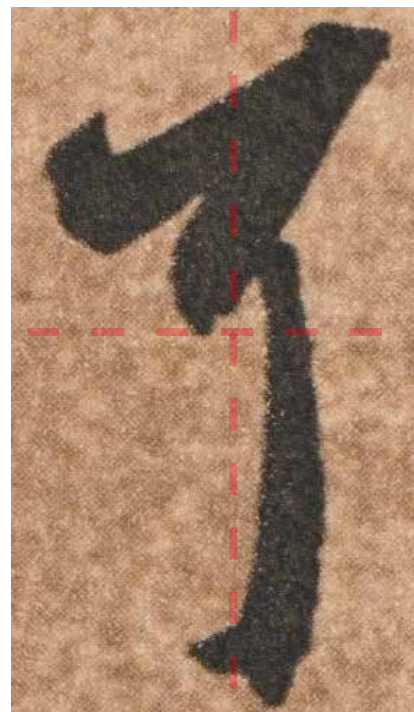
あ

ぞく

す。



元



陽